

【 取 扱 説 明 書 】

上肢のリハビリ器具

ユニバーサルジョイント式

リストラウンダー



K 工房SERA

はじめに

この度は「ユニバーサルジョイント式リストラウンダー」をご購入して頂きありがとうございます。本品は事故や麻痺が原因で、肩、上腕、肘、前腕、手首などに機能障害が残る人のための上肢のリハビリ器具です。

作業療法士と2人の技術屋がコラボして商品化しました。

支点に半固定式ユニバーサルジョイントを採用したことで、安定した回内回外と屈曲伸展運動と分回し運動を実現しました。

掌を固定するパーツは「ドーム状のキャップ型」と「棒状の握り棒」があります。キャップ型は大きさが違う3サイズ(SML)があります。

ジョイントは「分回し運動ができるR型」と「広角度の屈曲伸展回内回外運動ができるD型」の2種類があります。

1. 基本的な仕様

外形寸法：15cm×15cm×約14cm（高さ）

使用材料：天然木(ウレタン塗装)

：PLA(生分解プラスチック)

ベルト：ストレッチマジックテープ（幅3cm）

重量：330g（標準セット品）



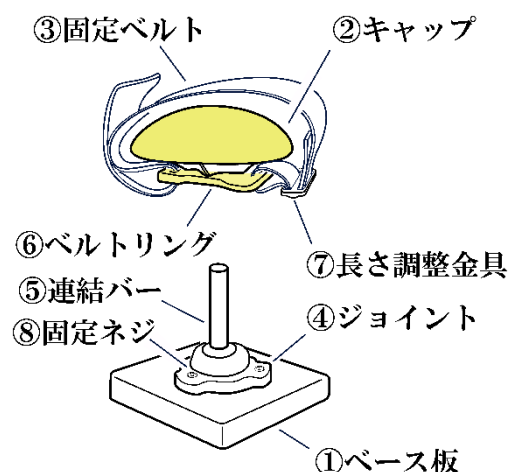
2. 構成パーツ（標準セット品）

標準セット品は、右下図の通り①ベース板、②キャップ、③固定ベルト、④ジョイント、⑤連結バー、⑥ベルトリング、⑦長さ調整金具、⑧固定ネジから構成されています。

ベース板①の裏には滑り止めクッションが付いています。固定ネジ⑧を緩めればジョイント④とベース板①は分解できますので、汚れなどでジョイントの動きが悪くなったときは分解清掃してください。

またキャップ②には掌を固定する固定ベルト③が付いています。ベルトが長すぎる場合は長さ調整金具⑦で長さを調整した後に余分なベルトはカットして下さい。

Mキャップが「大きすぎる」または「小さいすぎる」場合は、大きいサイズのLキャップまたは小さいサイズのSキャップと簡単に交換できます。またMキャップはD型ジョイントとの組合せも可能です。



3. 8種類の組合せ

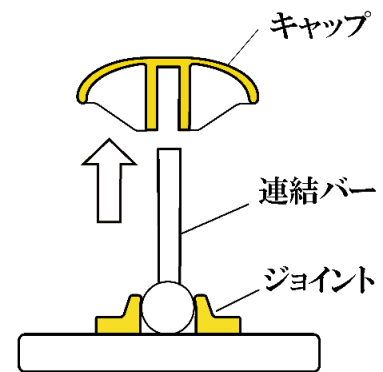
本品はキャップ部が着脱できるので、2種類のジョイント(R型とD型)と3サイズキャップ(LMS)と握り棒の組み換えで8通りの組合わせが可能です。

組み換え方法は簡単です。連結バーを手で握った状態でキャップを引き上げればキャップが分離できます。

逆に、連結するときには、キャップの裏穴(12mm)に連結バーを挿入すれば簡単に組立できます。

キャップはサイズの違う「キャップ」または「握り棒」とも交換できます。

また オプション品のDジョイントにも「キャップ」と「握り棒」が連結できます。



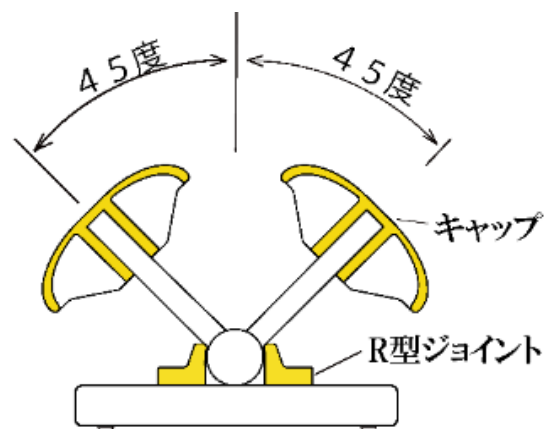
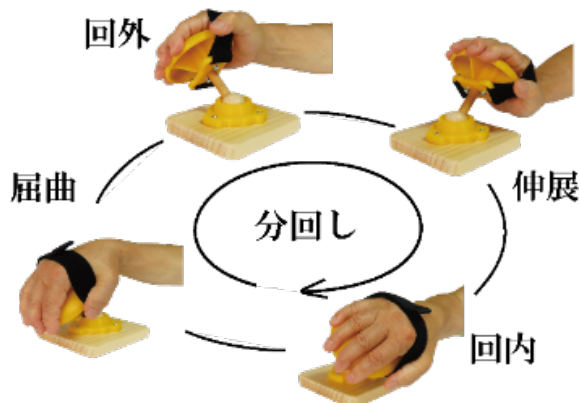
4. 使用方法

(1)標準セット品の場合

標準セット品はR型ジョイントとMキャップから構成され、分回し運動と回内回外・伸展屈曲運動ができる多用途対応のリストラウンダーです。

R型ジョイントは360度の分回し運動が可能で傾斜角度は45度です。

Mキャップは掌にフィットし易いドーム状で直径10cmのキャップです。伸縮性のある固定ベルト(ストレッチマジックテープ)が標準付属しています。ベルト長さはキャップサイズに合わせて調整できます。長さを調整するときは、⑦長さ調整金具を⑥ベルトリングに接するまで近づけて調整して下さい。



(2)オプション品

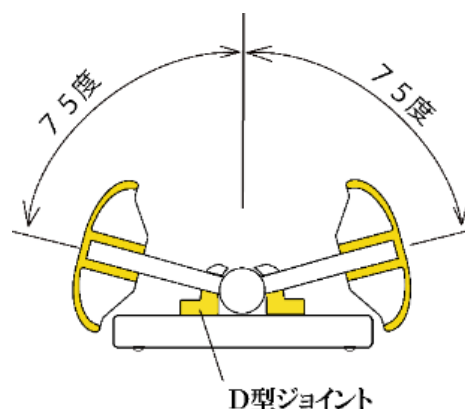
上記の標準セット品以外に、以下のオプション品を取り揃えています。

①D型ジョイント

広角度(±75度)の屈曲伸展と回内回外運動に特化したジョイントです。

D型ジョイントにもキャップタイプと握り棒タイプのどちらも装着できます。

運動の方向を変える場合はベース板の向きを変えてご使用ください。



②Lキャップ (固定ベルト付)

直径12cm×高さ4cmのキャップで掌が大きい人に対応しています。

③Mキャップ (固定ベルト付)

直径10cm×高さ4cmのキャップで掌の大きさが標準的な人に対応しています。

注) 標準セット品のキャップです。

④Sキャップ (固定ベルト付)

直径8cm×高さ4cmのキャップで掌が小さい人に対応しています。

⑤握り棒

直径3cm×高さ14cmの中空パイプです。

握り棒もR型とD型ジョイントのどちらにも装着できます。健常側の手を添えて両手で運動すると安定し、恐怖心も和らぎます。

また握り棒を真っ直ぐに立てた状態で握って、手首を曲げると屈曲伸展運動が可能です。

注) 固定ベルトは装着できません。



5. リハビリ効果

(1) 症状と運動

橈骨遠位端骨折の場合は手首の自動ROM訓練(屈曲と伸展運動)と前腕の自動運動(回内と回外運動)をお勧めします。

脳血管疾患による神経麻痺の場合は手首と前腕と肘の随意運動をお勧めします。

(2) 効能

上肢の骨折や筋や腱の損傷した方の場合、手首の関節可動域の改善と手、肘、肩関節の巧緻性の改善および2次的な廃用予防が期待できます。

さらに自動運動のため上肢の浮腫の改善にも効果があります。

一方 脳血管障害や神経麻痺に対しては、肩、肘、手関節の随意性の改善が期待できます。片麻痺で筋緊張が強い方は、健側の手を上から添え両手で運動すれば筋緊張が軽減できます。

製造発売 : 工房 SERA
代 表 : 稲住義憲
E m a i l : info@kobosera.com
U R L : <https://kobosera.com>
電話(携帯) : 090-4136-8423
F A X : 042-743-1184
住所 : 〒252-0303

相模原市南区相模大野 2-14-



初版 2022. 11. 12

